

講義コード	11C0128806	授業形態	演習	事前登録の有無	なし	担当教員	小沢 奈美恵	開講期	通年
科目名	ゼミナールⅡ(小沢)								
履修前提条件						備考			
授業の目的	学内ゼミ大会に向けて、論文の作成と発表の準備を行う。テーマは、ゼミメンバーが選んだテーマで、現代アメリカの現状を反映したトピックを扱う予定である。この研究を通じて、アメリカ社会の抱える諸問題を深く掘り下げて理解する。								
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. アメリカの現代社会の問題を、映像や文献を読むことを通じて、深く理解し、批評することができる。</li> <li>2. アメリカのニュース番組・ドキュメンタリーを視聴したり、アメリカ関連の記事を読むことでアメリカ理解を深める。</li> <li>3. グループで討議しながら、ゼミ論の論文構成を考え、テーマを追求しながら、掘り下げた内容の論文を完成する。</li> <li>4. 完成した論文を、分かりやすく人に伝えるプレゼン力をつける。</li> </ol>								
授業外学修内容・授業外学修時間数	<p>この科目では120時間以上の授業外学修を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. テーマに関連した本を数冊読むことが求められる。</li> <li>2. 本以外にも、雑誌、ニュース、メディアを通じてテーマに関連した資料を読み、批評的に考える。</li> <li>3. 各自分担部分のゼミ論を書いて、夏休み前後で発表の準備を行う。</li> <li>4. 発表用パワーポイントや発表原稿を作成する。</li> </ol>								
授業計画	<p>【第1回】 テーマ別に二つのグループに分け、基本的な調査を始める。</p> <p>【第2回】 ～【第6回】 アメリカの関連テーマの映画、ニュースを視聴しテーマについての知識を掘り下げる。CNNを Transcript 付で視聴したり、アメリカに関する様々なニュースや文献を読み、各グループで調査内容の発表を行い、討論する。各グループともゼミ論の仮アウトライン(章立て)を作成する。各自の担当部分を決定する。</p> <p>【第7回】 ～【第14回】 各自担当箇所に必要な書籍や資料を集めて、ゼミ論を完成させる。進度は、毎回、グループごとに発表する。</p> <p>【第15回】 中間発表を行う。夏休み中にさらに資料を読み、ゼミ論に改訂を行い、後期の発表に備える。</p> <p>【第16回】 夏休み中に改善したゼミ論の発表。</p> <p>【第17回】 ～【第28回】 ゼミ大会に向けてゼミ論を推敲して完成させ、プレゼンテーションの準備(配布資料、パワーポイント、発表原稿など)を行う。</p> <p>【第29回】 ゼミ大会反省会。卒論に関する説明と冬休みの課題。</p> <p>【第30回】 各自の卒論テーマの発表。卒論を書かないゼミ生は、1年の総括かアメリカ関連ニュースへの論評を発表。4年先輩の就活報告と卒論発表を聞く。</p>								
成績評価の方法	発表・参加態度(30%)ゼミ論(50%)課題提出(20%)								
フィードバックの内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ゼミ発表にコメントを行い、改善を求めたり、今後調査すべき問題を指摘します。</li> <li>2. ゼミ論を一人ずつ添削して返却し、修正箇所は、良くなるまで何度も確認します。</li> <li>3. プレゼンの仕方をチェックして改善点を指摘します。Webclassのアンケート機能を使って、クラスメイトや教師の感想をフィードバックします。</li> </ol>								
教科書									
指定図書	『大統領選からアメリカを知るための57章』越智道雄(明石書店)2012年、								
参考書									
教員からのお知らせ	連絡はe-mailなどで頻繁に取り合います。								
オフィスアワー	金曜2時限のオフィスアワーで当該授業の質問・相談をします。Webclassやゼミグループのラインでメッセージを送ることも可能です。								
その他									